

冬休みも交通事故に気をつけよう

冬は暗くなる時間が早く、まわりが見えにくく危険です。事故を起こさない・事故にあわないように気を付けて冬休みを過ごしましょう。

自転車を利用しよう

自転車の事故は、交差点やその付近で一番多く起きており、まわりの安全をよく確認しなかったことなどが主な原因です。

道路を横断する前には必ずいったん止まり、左右と後ろを見て、車や自転車、歩行者等が来ないか確認して通行します。

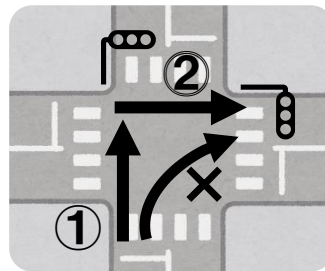
また、自転車のながらスマホや、イヤホンをしていて歩行者の発見が遅れ、ぶつかってしまう事故が全国で起こっています。絶対にやめましょう。



交差点を通行するときは…

横断歩道に歩行者がいたら、自転車から降りて、押して渡りましょう。

右折するときは、ななめ横断をしてはいけません。右図のとおり2段階で右折しましょう。



- ①青信号で交差点の向こうまで進む。
- ②右に向きを変え、前方の信号が青になってから進む。
※走ってくる車に気をつける。



《自転車安全利用のルール》

- ・自転車は「車道が原則、歩道は例外」
- ・車道を走るときは、車道の左側端を通行
- ・歩道を走るときは歩行者優先で、車道寄りを徐行
(「徐行」はすぐに止まれる速度で走ること。歩道ではスピードを出すと危険。)
- ・安全ルールを守る (二人乗り・並進は禁止、夜間はライト点灯、信号を守り安全確認)
- ・命を守るため、ヘルメットを着用する。

夕暮れ・夜間の通行時は注意

反射材やLED安全ライトを身に付けたり、明るい色の服(白や黄色など)を着ると、遠くにいても車から見やすくなります。人がいることを車のドライバーにアピールしましょう。

自転車にのるときは、必ずライトをつけましょう。(後方への反射器材がしっかり取り付けられているか確認しましょう。)

57m以上



反射材をつける

約38m



明るい色の服装

約26m



暗い色の服装



※自動車のライトが下向きの場合